

戸畑区日本共産党後援会「ユース」

とぼたの風

第58号

2017年5月発行

発行責任者
配川 寿好

北九州市戸畑区
天籟寺1丁目1番15号
Tel.873-3735
(部内資料)

心をねらう「共謀罪」

国民の反撃 急速に広がる



「共謀罪は絶対廃案」とコールし、絶対にあきらめないと決意を固める5・16大集会の参加者（16日、東京・日比谷野外音楽堂） 写真提供/しんぶん赤旗

テロ対策ではありません

安倍首相は、「テロ対策」などと説明していますが、全くのウソです。東京オリンピックを開催するために「国際条約」の批准が必要だとい

普通の人も対象にされます

「一般の人は関係ない」などと、安倍首相はここでも、ウソの説明をしています。法案には歯止めがありません。捜査機関（警察など）が「犯罪集団」だと目をつけられ、

「事件を起こす前の準備や共謀」の証拠を得るために、電話の盗聴、尾行、メールの傍受など、やりたい放題になります。赤信号二人で渡れば共謀罪。こんな川柳が新聞に。怖い法律は廃案しかありません。

「共謀罪」は絶対廃案に

日本共産党衆議院議員 まじま省三



花見、地図と双眼鏡を持っていたら犯行の下見と答弁しました。憲法19条に反する内心を処罰するという本質をごまかそうとするから、荒唐無稽な答弁になっていくのです。狙いは、憲法改悪、海外で戦争する国づくりのために、反政府的な市民運動を威圧するモノ言えぬ監視社会をつくらうというものです。「現代の治安維持法」は絶対廃案に！

ターゲットはあなた

2017年5月7日付 しんぶん赤旗から転載 作 大福きな子さん



ヨトサ!

北朝鮮が日本海に向け、またミサイルを発射した。国際社会が、核・ミサイル開発を自制するよう警告を強めてきた中で、射であった▼米国が北朝鮮へ先制攻撃する「Xデー」を予想する報道もされ、軍事的圧力を強めている一方、トランプ大統領は金正恩氏との会談の可能性にも言及している。また、中国、ロシアは「6カ国協議を含む対話による解決」をよびかけている。韓国の文在寅大統領も「対話による解決」を訴えている▼圧力と意思疎通の双方で解決をはかるうとする国際社会の動きに対して、安倍首相は6カ国協議は意味がないとのべ、世界の流れに背を向けている。北朝鮮は何を望んでいるのか、そのために国際社会で何が必要なのか明らかにしていく、時間はかかっても、粘り強く話し合いで解決するしかない。安倍首相は圧力一辺倒ではなく、外交努力の姿勢を示すべきである。▼『内閣官房国民保護ポータルサイト』には、武力攻撃が迫った時に鳴るといふ「警報のサイレン音」があり、空襲を想起させる不快な音である。戦争を起さないことが、政治家の最大の任務である。安倍首相は戦争を起さなければいけぬ。



北九州市議会議員
荒川 徹

子育て日本一の看板が泣きます

戸畑子どもと母の図書館

―公共施設のリストラで廃止？―

利用者の声を聞いて

戸畑分館の廃止について、市教育委員会は「戸畑図書館の開館に伴い分館の利用が減っている」、「戸畑区は人口が減少傾向にある」、「他の区でも図書館整備に伴い分館を廃止している」などとしています。

図書館つぶすな ムダ削れ

この発表について、市民からは「市の財政が厳しいと言って、多くの子どもや親が利用している施設を廃止するなんて納得いかない」、「ムダ

長年、同分館で子どもたちに「読み聞かせ」をしてきたYさんは、「戸畑分館は、今でも近隣の多くの子どもたちが利用しており、戸畑図書館ができたから廃止するというのは余りにも一方的だ」、「経費節減というなら削るべきと

使いを削って図書館は残すべき」と、市の一方的な廃止発表を批判する声があがっています。

これは他に「あるはずだ」と強調します。これまでに市は、説明会を開催するなどしていますが、多くの市民は廃止方針が出されたことを知りません。市の公共施設削減方針は、市が住民への説明責任を果たすこと、住民の合意を取り付けながら実施するとなっています。存続を求める声をあげるのはいまです。



戸畑子どもと母の図書館

国境としての境川（下流編）

戸畑郷土史会会員 金丸 房男



末永く残したい一本松

金比羅池を源流に、中原海岸に向かって流れている全長4km余りの境川は、途中兩國橋の下流で、重次郎池（現共立病院）、仙水池方面から田畑を流れて合流してしました。川幅が狭く、蛇行して川底が浅いため、洪水の時は溢れた水で100m以上にわたって田畑が冠水し、道路を塞ぐこともありましたが、普段は葦が茂り、魚や貝が豊富で、夏の夜はホタルが乱舞し、自然豊かな川でした。

河口の東側には、江戸時代、矢倉山「櫓山公園」があり、小倉藩が山の頂上に密貿易取締りのための遠見番所を設けて、響灘沖合にある藍ノ島に豊七十畳ほどの大旗が揚がる「唐船」が来たという知らせで、ただちに小倉城に連絡していたとのこと。

河口西側の中原海岸と松並木は、絶景で昭和の初期まで海岸には二百艘くらいの貸ボートが繋がれ、西日本一の設備を誇る海水浴場として賑わっていました。しかし、昭和の初期から進められた海岸の埋め立てと火力発電所などの建設によって、松並木が次々に伐採され、それを免れた貴重な一本の松の木が当時の河口に現存（写真）し、昔

くすりのことなら
ふれあい薬局
戸畑店
戸畑区新池1丁目5-30
☎ 093-881-2332

の白砂青松の海岸を今に伝えるものとなっています。今日でも、江戸時代の国境であった境川を基点に、海上の取り締まりが東側の豊前国が門司海上保安部、西側の筑前国が若松海上保安部の担当となっています。漁業権も、境川を基点として、東側が平松漁業組合、西側が戸畑・若松漁業組合に分かれています。

70年たっても鮮明に蘇える戦中の記憶

坊 一二三さん(90歳) 東大谷在住



元々は和歌山の出身で、戦後仕事を求めて九州に来て、博多や香椎などで働き八幡にも長く住みましたが、2年前から戸畑の住人となりました。90歳になった今も、自分の足で買い物や病院に行けるほど元気です。

坊さんには忘れられない戦時

中の記憶があります。

まだ17歳の頃、呉（広島）の軍需工場に配属され終戦まで働きました。工場では人間魚雷を造っていました。兵士には魚雷と運転室は分かれていて命は助かる構造だと説明されていましたが、実際は兵士ごと爆発するものでした。

工場付近の海岸には、近くの住民がカニを獲りに来るなど出入りしていましたが、その人たちと一言でも口をきいてはいけませんでした。

工場には朝鮮半島から強制的につれてこられた慰安婦もいて、食べ物もろくに与えられない境遇に同情して、隠れて差し入れをしたりもしました。

終戦直前になると、敵の艦載機やB 29の空襲から逃げ回る日々でした。8月5日の空襲の後には海面が見えないほど死体が浮かんでいました。坊さん自身も負傷しましたが、幸い軽症で済みました。

戦時中戦争への不満を口にするするとすぐに「共産党」と決めつけられたので、何も知らなかった坊青年も命がけで戦争に反対した共産党を知ることになりました。

戦犯として一生塙の中に入っていたはずの岸信介が首相となり、孫の安倍現首相が、坊さんが二度と経験したくないと思う戦前の日本に引き戻そうとしていることに、大きな憤りを感じています。